

専修大学大学院商学研究科と東京信用保証協会による 第 13 回共同公開講座 「TPPが中小企業経営に与える影響～FTA・EPAからの示唆」

当協会では、「産学連携」の取り組みの一環として、専修大学大学院商学研究科と「共同公開講座」を開催しています。

7月30日（土）専修大学神田校舎にて13回目となる共同公開講座を「TPPが中小企業経営に与える影響～FTA・EPAからの示唆～」をテーマに開催いたしました。講座は、専修大学商学部・大学院商学研究科の渡邊隆彦准教授が「TPPとは何か～その概要と可能性～」と題する講演、株式会社タスコ常務取締役の盆野禎宏氏が「株式会社タスコのEPA活用について」と題する講演を行いました。続いて、当協会から「海外展開支援」制度についてのご案内をいたしました。

最後は、専修大学商学部・大学院商学研究科の渡邊隆彦准教授をコーディネーターとし、専修大学商学部・大学院商学研究科の小林守教授、中小企業基盤整備機構国際化支援アドバイザーで、株式会社ロジスティック代表取締役の嶋正和氏、株式会社タスコ常務取締役の盆野禎宏氏をパネリストとして、パネルディスカッションを行いました。

当日は中小企業経営者や役員・後継者、会社員など70名の方にご参加いただき、本講座は成功裏に終えることができました。ありがとうございました。

[開催概要]

日時 平成28年7月30日（土） 13:00～17:00

会場 専修大学 神田校舎 7号館731教室

テーマ 「TPPが中小企業経営に与える影響～FTA・EPAからの示唆～」

プログラム ●講演会（第1部）「TPPとは何か～その概要と可能性～」

専修大学商学部・大学院商学研究科 准教授 渡邊 隆彦

●講演会（第2部）「株式会社タスコのEPA活用について」

株式会社タスコ 常務取締役 盆野 禎宏氏

●東京信用保証協会から「海外支援展開」制度のご案内

●パネルディスカッション

「中小企業にとってのTPP～未来のチャンスとリスクを知る～」

コーディネーター：専修大学商学部・大学院商学研究科 准教授 渡邊 隆彦

パネリスト：専修大学商学部・大学院商学研究科 教授 小林 守

：中小企業基盤整備機構 国際化支援アドバイザー
株式会社ロジスティック 代表取締役 嶋 正和氏

：株式会社タスコ 常務取締役 盆野 禎宏氏



多くの方のご参加
ありがとうございました。

